

# 事務事業評価シート2 (一般事業)

## 1 基本情報

		事業番号	0116/201010/06/14	事業の種類	4	
年度	20	事務事業名	塵芥収集委託事業	作成日	重要度 5	
予算事業名	粗大ごみ処理業務・容器包装再資源化		担当課名	環境課		
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり					
施策名	廃棄物処理		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市全市民				
	誰(何)を対象として	相生市全市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	粗大ごみ、資源ごみの適正な分別により、効率的に収集ができ、また、適正に処理する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		粗大ごみの中間処理委託及びペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイの拠点回収委託				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	粗大ごみ処理量	t	396	361	332	330
	拠点回収量	t	197	197	182	190

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.100	0.100	100.0	0.100	100.0	0.100	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,573,434	1,609,685	102.3	1,549,278	96.2	1,563,264	100.9	
	事業費	23,528,000	20,575,601	87.5	19,382,395	94.2	21,644,000	111.7	
	合計	25,101,434	22,185,286	88.4	20,931,673	94.3	23,207,264	110.9	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	25,101,434	22,185,286	88.4	20,931,673	94.3	23,207,264	110.9	
	合計	25,101,434	22,185,286	88.4	20,931,673	94.3	23,207,264	110.9	

## 4 評価指標

[有効性]

指標名1		中間処理経費							
指標説明(式)		中間処理委託料							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16,793,000	14,950,000	89.0	14,400,000	96.3	14,900,000	103.5	
	実績	16,289,364	13,832,081	84.9	11,823,595	85.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

[効率性]

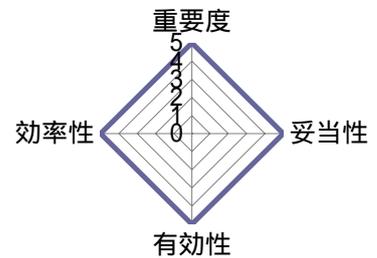
指標名1		粗大ごみ1kgあたりの処理料							
指標説明(式)		委託料÷処理量							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	39	37	94.9	36	96.5	35	98.3	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

### 5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	現施設では不燃粗大ごみの処理ができないことから、中間処理委託事業は必要である。	5	5
有効性	市民サービス	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	5	5
効率性	コストの節減	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	5	5

### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	粗大ごみ等の不法投棄が多く、処理経費の増につながる。



### 7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	処理経費削減のため、分別の徹底を図る。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--

検討の有無	-
総合指標	27.5